

令和5年度四国中央市標準学力調査の実施結果について

去る1月に実施いたしました本市の小学3、4年生の結果をお伝えします。

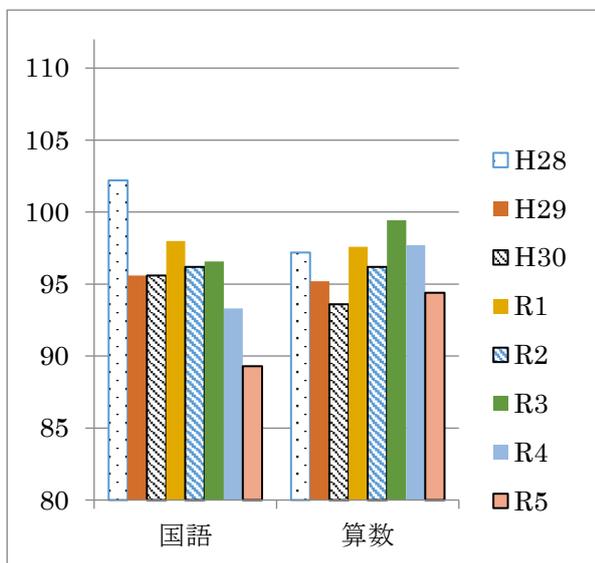
1 概要

学年	教科	結果の概要
3年	国語	全国平均を下回り課題があるようですが、「活用」はおおむね良好な状況です。問題の内容では、「言葉の学習」と「漢字を書く」に課題があるようです。
	算数	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。「図形領域」にやや課題があるようです。
4年	国語	全国平均を下回り課題があるようですが、「活用」はおおむね良好な状況です。問題の内容では、「言葉の学習」と「漢字を書く」に課題があるようです。
	算数	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。問題の内容では、「簡単な場合についての割合」と「垂直・平行と四角形」に課題があるようです。

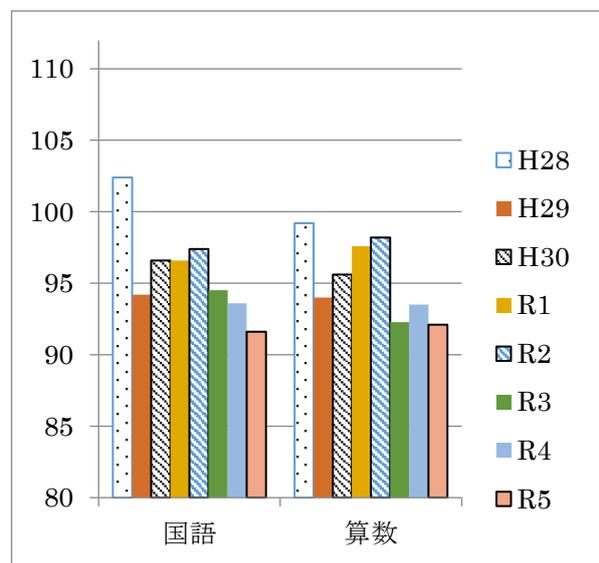
2 学力の経年変化

- ・ 市内の小学3、4年生の平均正答率を、全国平均を100として比較したものです。
- ・ 平成28年度からの経年変化を表しています。

※ 平均正答率とは、一人一人の児童の正答率（全設問のうち何%の設問に正答したか）を平均したものです。



【小学3年生】



【小学4年生】

3 各校における成果と課題

各校から、別紙にてお知らせします。

4 個に応じた事後指導

調査を受けた一人一人に、各教科の「弱点克服のためのフォローアップシート」を提供します。正答率が高かった児童には、「チャレンジシート（発展的な問題）」を提供します。なお、調査用紙の返却は、調査会社との取り決めにより、令和6年3月11日（月）以降にいたしますので、御了承ください。